

145 万筆突破！！

「介護従事者の処遇改善」と 「介護サービスの質の確保」を求める署名活動

財務省は去る 10 月 8 日に「介護報酬の 6%カット」との方針を打ち出しました。平成 24 年度の介護報酬の実質マイナス改定、そして今回の「6%カット」が実施されれば、利用者へのサービスの質の確保どころか、介護従事者の人材確保、キャリアアップや処遇改善も不可能となります。そこで、「介護従事者の処遇改善」と「介護サービスの質の確保」を求め、公益社団法人全国老人保健施設協会と公益社団法人日本認知症グループホーム協会は、それぞれ署名活動を実施いたしました。

【公益社団法人全国老人保健施設協会】

「介護従事者の生活と人生を守り、

利用者へのサービスの質を確保するための署名」

署名数 1,408,623 筆

【公益社団法人日本認知症グループホーム協会】

「介護従事者の処遇を改善し、

認知症グループホームの介護の質を高めるための署名」

署名数 55,155 筆